

ぼーぐなんデジタル教材 *English in Action* Vol.2

English in Action Vol.1 で使われてタブレット端末をクリックしながら学んできた子どもたちも、電子ボードを使いながらご指導くださった先生方も、デジタル教材を使って英語に触れていく面白さを、じっくり試されたことと思います。子どもたちは、英語を聞いていると、だんだんに分かってくる！という体験をしてくれたことでしょう。簡単な英語で問いかけられたら答える、同じ質問を友だちにもしてみる、そして、自分の思いを伝えられるようになってきて、「次には何が分かるようになるのだろう」と胸を膨らませていることと思います。

English in Action Vol.2 では、同じような簡単な英語を使いながら、子どもたちの身近にある語彙を使って、少しずつ自分で考えながら英語で表現出来るようにしていきます。そうしているうちに、子どもたちは鋭い感性で、伝えたいもの(名詞)の前に、何か最初に言わないと英語らしくない、ということに気づきます。英語で対話をしようとする時に、「最初になんて言うんだっけ？」と聞いてくる子がいるのは、その現れです。

子どもが、英語で伝えようとするときに、「最初に言わなければいけないことがある」と気づいているのは、主語(多くの場合代名詞)と動詞が固まりになって聞こえてくる部分です。これは、日本語と違う英語の特徴を子どもが捉え始めたことなので、その度に、**I have …./ Do you have ….**などと囁いてあげると、「あ、そうだ!」と、その音の固まりをつけて、**I have two balls. / Do you have one ball?**などと、モデルの文を言うことが出来ます。

English in Action Vol.2 のテキストや、デジタル版では、子どもたちが興味を持つ話題を扱いながら、短い英文を聞いて真似をし、英語に隠れているルールを感じ取れるような仕込みがしてあります。

もう一つこの Vol.2 で新しいことが始まります。それは「早口ことば」です。速く言えることが目的ではなく、日本語の音とは似ているようでも大違いの英語の音を、遊びながら気づいてもらうために、何度でも繰り返して楽しめる短い文が各レッスンにいくつか用意されています。日本語とは違う口の動かし方、息の出し方を、クリックしながら何度でも聞いて、真似をしてみてください。この「早口ことば」は、Vols.3-4 でも続きます。